

打など男子中心の勇ましい行事に取って代わる様になりました。室町時代には、兜人形が作られ、江戸時代になると男子の健康と出世を祈って鯉のぼりを立てるようになり、端午の節句は、男子を中心とする祝いの日へと変わってきたのです。

【4】鯉のぼり

竜門〔黄河の中流にある急流〕では、下流からいろいろな魚が群れをなして遡ってきます。鯉だけが登りきって竜になるという故事から、栄達の糸口となる関門を登竜門といい、「鯉の滝登り」として、立身出世のシンボルとされたのです。

鯉のぼりは江戸時代の中期から、武士の魂、出世魚として、男子誕生の喜びを広く世間に知らせる目的で戸外にたてられるようになりました。

鯉のぼりには、〔吹き流し〕が付けられます。5色の吹き流しは滝や雲になぞらえ、風になびきながら泳ぐ鯉の姿を一層美しく引き立たせています。青、赤、黄、白、黒の5色は木火土金水の陰陽五行説から来ていて、邪気を払う霊力があると信じられていました。鯉は吹き流しに守られて泳いでいるのです。現在、日本では黒の代わりに緑や紫が使われています。

【5】ちまきとかしわもち

中国の戦国時代、楚の懷王に仕えた屈原（くつげん）は国政を司ったが、同僚に妬まれ王にうとまれるようになりました。屈原は身の潔白を告げて、汨羅（べきら）の淵に身を投げてしまいました。B.C278年5月5日のことでした。汨羅に住んでいた一匹の大きな鯉が、屈原の亡骸を咥えて45マイルも上流の故郷まで運び、屈原の姉に届けました。

楚の人々は偉大な愛国者・屈原を慕い、霊を慰めるために命日になると、競渡（ケイト）中国語でペイロンを行いました。また、粽をつくり、屈原の霊に捧げると共に、鯉にも感謝の気持ちを届けるのです。粽（チマキ）は梅檀（センタン）の葉につつみ5色の糸で結びました。後には、笹、菰、葦、菖蒲などで米を巻きました。今でも、中国では各家庭の秘伝の作り方で粽を創っています。

日本では江戸時代に「柏餅」を食べるようになりました。柏の樹は新芽が出ない限り古い葉が落ちないので、家系が絶えないという縁起を担いで柏の葉で包む柏餅を食べるようになりました。梅檀の代わりに柏の葉を代用したのでしょうね。柏の葉の表を外にすることが味噌入り、裏の葉を外にすることが餡入りであったそうです。



張江 幸男（はりえ ゆきお）

海外・帰国子女教育専門機関 JOBA 顧問

前全日本空輸（株）海外子女教育相談室長、元三菱商事（株）相談室長、元ニューヨーク日本人学校校長、元台北日本人学校教頭

【6】五月節句の主役たち

端午の節句が平安時代の公家社会から、だんだん武士社会に移るにつれ、「女の家」から「男子の節句」へと様子が変わってきました。武家中心の封建社会では男子の誕生、そして健やかな力強い男子の成長と、立身出世を願いまして、五月節句には鯉のぼり、武者人形、鎧、兜が飾られるようになりました。武者人形には歴史上活躍した人物が多いのですが、中でも人気のあったものを列挙しましょう。

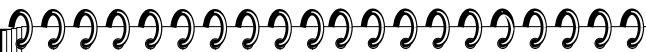
- 1、神功皇后・・・三韓遠征の指揮をとった男装の女傑。
- 2、応神天皇・・・弓矢の神
- 3、武内宿禰・・・景行天皇から仁徳天皇まで5代に仕えた。
- 4、源為朝・・・天下一の弓の名手。
- 5、源義家・・・源氏の東国基盤を創った。
- 6、豊臣秀吉・・・足軽から天下人になった出世頭。
- 7、加藤清正・・・秀吉に仕え、朝鮮出兵時トラ退治で有名。
- 8、弁慶・・・源義経の家来、
- 9、牛若丸・・・源義経
- 10、小鍛冶・・・名刀工
- 11、那須与一・・・弓の名手
- 13、桃太郎・・・昔話の主人公
- 14、金太郎・・・源頼光の四天王の一人
- 15、鐘馗（ショウキ）・・・中国の伝説の魔除けの神様。唐の玄宗皇帝が熱病に罹って夢現であった時、悪鬼が皇帝の玉笛と楊貴妃の紫香囊を盗んだところ、一人の男が現れてそれを退治した。彼は「私は鐘馗といいます。科挙に二度失敗し、自殺したが、あなたが憐れんで丁重に葬ってくれた。」玄宗は感謝して祀った。

【7】親子で端午の節句を祝いましょう。

ワシントン補習校の一年生の作品のように、日本文化を外国人にも伝えたいものです。

新聞でかぶとを折った子どもの日

サムにかぶせてさむらいごっこ



海外・帰国子女教育専門機関 JOBA

〒145-0064 東京都大田区上池台 3-39-9

TEL : 03-5754-2240 FAX:03-5754-2241

HP : www.jolnet.com



日本の伝統文化のひとつ、5月5日の端午の節句の由来・歴史を張江先生に紹介していただきました。

何気なく見ていた鯉のぼりやちまきが、楊貴妃や屈原につながるいわれがあることや江戸時代から続いていることなど、このコラムで紹介されている内容を、海外の保護者の皆さんはお子さんに面白おかしく話してあげて欲しいと思います。

そのお話が、お子さんが日本や日本文化に興味を持つキッカケになったり、断片的に覚えているだけでも日本の知識を吸収する基礎になるのです。お子さんを「日本人に育てる」第一歩になります。ぜひトライしてください。